

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ご利用者が重度化になられた時、終末期に向けた事業所の方針が適切に伝えられていない。	事業所の方針をご家族様に理解して頂けるようにする。	ご家族が面会された際、ご利用者様の様子を伝えさらに契約時の説明をしながら理解を深めて頂く。また、たより等でもお知らせする。	1ヶ月
2	6	身体拘束のマニュアルはあるが、安全性の問題から住環境の見直しがされていない。	安心安全の視点で随時検討をする。	ご利用者様、ご家族と話し合いを持ち、より良い居室となるよう住環境を整備する。	1ヶ月
3	10	ご利用者様、ご家族等の意見、要望の表出をもっと身近なものにする。	年に3回行われる家族会での意見だけでなく、ご利用者様、ご家族が面会時気軽に意見、要望を出して頂けるようにする。	意見箱の設置についてお便りでお伝えすると共に、ご利用者様やご家族から意見を頂けるように、職員から話しかけたり、職員と家族が団欒できる場を設けその中でご意見を伺う。	6ヶ月
4	4	運営推進会議で外部評価の結果は検討されていない。	外部評価の結果を報告だけに留まらず、改善にむけての取り組みを話し合う。	会議では話し合いを行い、多面にわたるご意見を頂きながら、職員間で改善に向けた取り組みを行う。	6ヶ月
5	34	急変や事故発生時、その対応を全職員が習得していない状況にある。	高齢者、認知症に関わる職員の技術の基本を繰り返し学び、全職員が適切に応急手当が出来るようになる。	同一法人と連携し、専門職(看護師)から学ぶ機会を作る。また、救命救急法を習得する。	3ヶ月